

金融市場NOW

ユーロ圏では感染第二波を背景に景況感が悪化

産業構造の違いにより、ユーロ圏主要国でも景況感に差

- ▶ ユーロ圏の製造業PMIは新規受注が好調で改善した一方で、サービス業PMIは感染第二波による経済活動の再停滞懸念などを背景に低下した。
- ▶ サービス業を中心に景況感が低迷し、ユーロ圏の本格的な景況感改善には時間を要するとみられる。

製造業PMIは改善、サービス業PMIは悪化

IHSマークイットが9月23日に発表した9月のユーロ圏総合PMI（購買担当者景況指数）は50.1と好不況の境目である50を維持したものの、前月の51.9から悪化しました。製造業PMIは53.7と前月の51.7から改善しましたが、サービス業PMIが47.6と前月の50.5から悪化しています。製造業は新規受注が好調で回復傾向ですが、サービス業は感染第二波による経済活動の再停滞懸念などを背景に低下したようです（図表1）。

ユーロ圏の主要国でも景況感に差

ドイツ総合PMIは53.7と50を維持しましたが、フランス総合PMIは48.5（前月51.6）と50を割り込みました。イタリアやスペインでは既に8月の総合PMIにおいて50を割り込んでいます（図表2）。

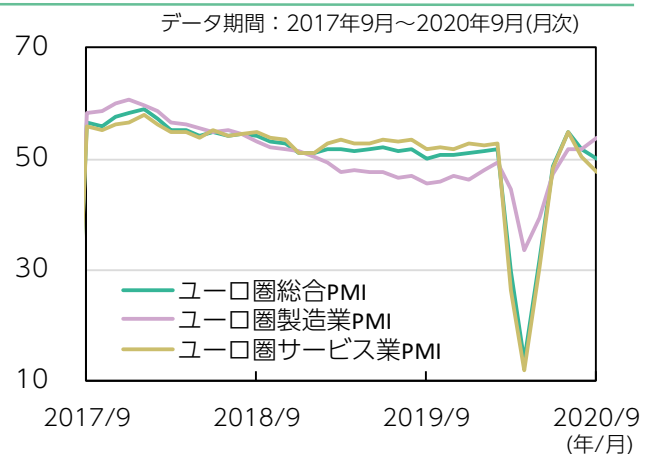
景況感に表れる産業構造の違い

ドイツの総合PMIが50を維持しているのに対し、フランス、イタリア、スペインが50割れとなっている背景に、産業構造の違いが挙げられます。対面での対応が中心となるサービス業より感染再拡大の影響が相対的に少ないと言われる製造業ですが、GDP（国内総生産）に占める製造業の割合がドイツで20%台前半と、イタリア（10%台半ば）やフランス、スペイン（10%前半）に比して高いことが、PMIの差異の要因と考えられます。フランス、スペイン、イタリアでは、感染第二波による観光業の低迷により、景況感の落ち込みが相対的に大きくなっているものと考えられます。

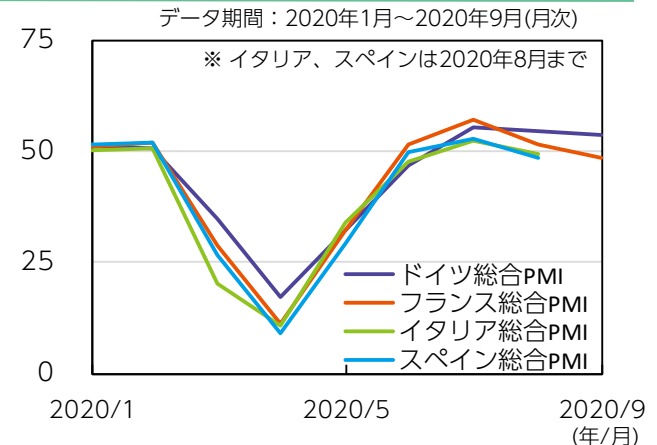
本格的な景況感改善には時間を要するとみられる

欧州では7月以降、新型コロナウイルスの新規感染者数が再拡大傾向です（図表3）。特にフランス、スペインの増加が顕著となっており、外出制限などの規制の再強化が実施されています。製造業は引き続き、需要回復などを背景に緩やかな持ち直しが見込まれますが、感染再拡大から観光業をはじめとするサービス業が低迷することで、ユーロ圏の本格的な景況感改善には時間を要しそうです。

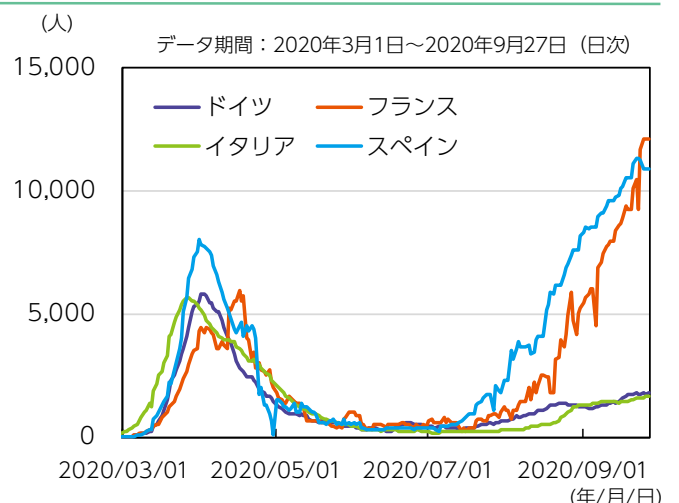
図表1：製造業PMIは改善、サービス業PMIは悪化



図表2：ユーロ圏の主要国でも景況感に差



図表3：フランス、スペイン中心に感染再拡大



※ 欧州主要国の新型コロナウイルス新規感染者数（7日移動平均）の推移

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>